

関前地区避難所における避難者トリアージ

トリアージとは災害時に医療資源が制約される中で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて搬送や治療の優先順位を決めることをいいますが、関前地区の避難所では限られた避難所スペースを有効に使う為に「避難者トリアージ」を行います。

在宅避難ができなくなった方々が集まってくる避難所は、通常ではいわゆる「3密」状態となることが予想されるため、感染症の拡大防止に配慮した運営が必要となります。

前頁にも書いてありますが、避難者の皆さんは「感染者及び感染の可能性のあるグループ」とそれ以外のグループに振り分けられたのちに避難者カードを記入していただいて受付を行います。前者と後者は避難所内でゾーニング（区分け）を行い、生活動線が交わらないように部屋割りをを行う予定です。**感染拡大を防ぐためにも、特に重要になってくる事柄なので、ご自身の状況をしっかりと申告していただくことがとても大事です。**

■新型コロナウイルス感染症対策を主とした最初のグループ分け

- | | |
|-------------------------------------|----------------|
| ① 自宅療養者（新型コロナウイルス陽性者） | ➤ 自宅療養者専用スペースへ |
| ② 濃厚接触者（陽性者と一定の接触があり陽性・陰性が判明していない方） | ➤ 濃厚接触者専用スペースへ |
| ③ 咳・発熱等の体調不良者での感染の疑いがある①②以外の方 | ➤ 咳・発熱等専用スペースへ |
| ④ ①～③以外の方（怪我人などの病院移送待機者も含まれます） | ➤ 2次グループ分けへ |

■一般避難者グループ（上記④グループ）の2次グループ分け

- ①病院への移送待機グループ
- ②福祉避難所（指定された高齢者施設等）への移送待機グループ
- ③避難所内の福祉避難室や臨時避難室（避難所と連携した施設）での生活グループ
- ④妊産婦・乳幼児のいる家族
- ⑤精神疾患・知的障がい・発達障がい者のいる家族（体育館での共同生活は不適應と申告があった場合）
- ⑥性的マイノリティの方（体育館での共同生活は不適應と申告があった場合）
- ⑦体育館での避難生活に問題ない方（①～⑥以外）



可能な範囲内で①～⑦の類型ごとに居住スペースを割り当てますが、⑦の方の中でも女性単独避難者や地域外からの避難所利用者、また外国人（日本語のわからない方）は別途配慮を要するものとします。

避難者カードにある情報量は多くないと思われるので、要配慮と判断された避難者からは聞き取りを行い、個々の状況に応じて①～⑦に分類し、適当な居住スペースの割り当てを行う予定ですが、限られた空間でもあり、皆さんの理解と協力が必要です。

例えば、慢性疾患のある方や介護・看護を必要とされる方は状態により①②③に分類されるでしょう。肢体不自由な方や視覚障がいのある方は③に分類とする一方で聴覚障がいの方は⑦に分類するなど、状況に応じた部屋割りをしていくことになります。

関前防災会 代表 島田豊文
51-2030
<https://sekimaebousai.web.fc2.com/>

編集後記

いかがでしたでしょうか？避難所での受け入れに際しても、最初から結構な作業が必要となることがイメージしていただけでしょうか？

そして、こうした対応をするためにも私たち防災会はあるのですが、会員の平均年齢は高く感染時には重症化が懸念される方々ばかりです。

在宅ワークの方も増えました。

これを機会に防災会に入って、災害時の対応を一緒に考えてみてくださらないでしょうか？

若い皆さんのお力添えをお待ちしております。

